



かとり 農業委員会だより

平成28年2月

No.28

編集・発行
香取市農業委員会

〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127 TEL 0478-50-1226 (0478-54-1111 内線 2871)



左から2人目が香取さん、次に根本さん、椎名さん、他従業員の皆さん

新規就農者ご紹介

株式会社いっぶく堂 (香取市本矢作)

根本嘉 恵さん

香取千恵子さん

椎名賢 子さん

『株式会社いっぶく堂』は、これまで私たち女性農業者3人が各自で農作物の栽培をしていたものを、農業生産法人として平成27年7月に設立したものです。

いっぶく堂という社名は、お茶を飲んでひと休み「いっぶく」しながら、商品をお茶のお供にして欲しいという思いからつけました。

地域の資源であるさつま芋を中心とした農産物を生産するだけでなく、オリジナルの付加価値を付けた加工品の販売等、経営の多角化を進めることによって、一貫生産した農産物の生産・加工・販売により、地域との連携を取りながら農業の活性化が図れればと考えています。

メインとなる商品は、さつま芋の「紅はるか」による「干し芋」と「焼き芋」です。香取市は、温暖な気候と水はけのよい火山灰土に恵まれ、そこで作られる「紅はるか」は、あの安納芋にも匹敵するくらい甘みが強く、しっとりとした食感で果肉も色鮮やかです。

収穫後は貯蔵庫でじっくり貯蔵・熟成させることによって、でんぷんが糖化され、より甘みを引き出すことが出来ます。

また、衛生管理を徹底させるため工場内で、天日干しと同じ条件になるように開発された冷風と遠赤外線のリフレキティブ乾燥機を用いて製造しています。

今後は、さつま芋に加え自分たちで生産している野菜を使った商品も作っていきます。

いっぶく堂は、みんなに愛される会社を目指して、気軽に集まってお茶を飲めるような、そんな会社になりたいと思っています。

農業委員会会長挨拶



会長
大須賀 常政

輝かしい新年を迎え、農家の皆様のご健勝とご多幸をお慶び申し上げます。昨年は記録的大雨による鬼怒川の堤防決壊など大きな被害が発生しました。心よりお見舞い申し上げます。

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、4月1日より新しい農業委員会体制でスタートします。新しい法律では農業委員会が主たる使命である、農地利用の最適化をより良く果たせるようにすることを掲げております。

新たな制度に基づき農業委員は議会の同意を得て市長が任命します。農地利用最適化推進委員は、農業委員会が委嘱する事となります。新制度による農業委員会が農地利用の集積・集約化の目的を具体化し、農業経営に貢献し有効に役割を果たさなければなりません。

米の生産数量目標で行政が関与するのは今年秋、2017年産米の配分が最後となります。新たな米政策の展開を含む4つの農政改革が策定されてから2年が経過しました。着実な農政改革が執行され改革の目的が達せられることを期待します。環太平洋連携協定(TPP)が大筋で合意し、国際化への対応、地方の衰退、食料生産の過剰と不足の存在など、より深化した困難な時代を迎えようとしています。

今回の農業委員改革は60年ぶりとなりますが、農業を取り巻く環境が変わっている現状を認識

し、地域農業の維持・発展に向けて委員一同取り組んで参りますのでより一層のご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

香取のふるさとまつり

山田ふれあいまつり

昨年11月3日の文化の日に山田支所市民広場で開催され、多くの野菜をはじめとする特産品や、地元農産物で作る五目おこわ、ゆで落花生などの加工品、各種展示即売が人気で、会場では他にも姉妹都市である岩手県山田町からの出店による新鮮な海産物の販売もありました。

農業委員会のブースでは、恒例となりました「ジャンボカボチャ重量当てクイズ」を行いました。カボチャは、山田地区の農業委員と元農業委員にも協力をいただき、育て上げたものです。

家族やグループで来ていた方などは、お互い顔を見合わせ、首をかしげながら真剣にクイズに参加していました。

細野安功さん(香取市田部在住)が、鴨川市で開催された巨大カボチャの重さを競う大会に出場しました。出品カボチャ(写真下)の重量は352kgです。



栗源のふるさと祭り

昨年11月15日に栗源運動広場で開催され、朝方は雨が残っていましたが、昼頃には晴れ間が見え始め、多くの方でにぎわいました。

会場のステージは大根、キャベツ、人参、白菜などの野菜で出来た富士山でした。イベントでは、カトレンジャーズ、浦安マリンエンジェルズネオのショーなど盛りだくさんでした。フィナーレには毎年恒例の紅白もち投げがあり、豪華賞品と交換できるカラーボールも投げました。

栗源地区の農業委員と元農業委員による『いも掘り体験広場』では、『自分の手で見ると、触れる、食べる、自然を感じて遊ぼう』という企画のもと、子供も大人も泥だらけで夢中になりながら普段では味わえない感触を楽しんでいました。





昨年11月22日に佐原コミュニティセンターで開催され、農業団体や商工団体など多くの団体が参加し、交流を深めるとともに地域産品のPR活動などを行いました。

佐原地区農業委員会ブースでは、「農地・農政よろず相談会場」の開設、また「大かぼちゃ重さ当てクイズ」「農業に関するアンケート調査」を実施し、多数の方々が訪れ大盛況となりました。

大かぼちゃ重さ当てクイズにより入賞された方々には、農業委員や元農業委員有志により提供されたキウイフルーツやシクラメン、洋蘭など多くの品を贈られ、喜びいっぱいの笑顔に包まれていました。

来場者にお願いましたアンケートの回答では、『農は食に通ずる』のとおり、農産物の安全性や米価、TPP問題など多方面に関心の高いことがうかがえました。

ふるさとフェスタさわら

香取市農地賃借料情報

平成27年1月から12月までに締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10aあたり)は左記のとおりとなっております。農地の賃借料を決める参考としてご活用ください。

田(水稲)の部

(額単位:円)

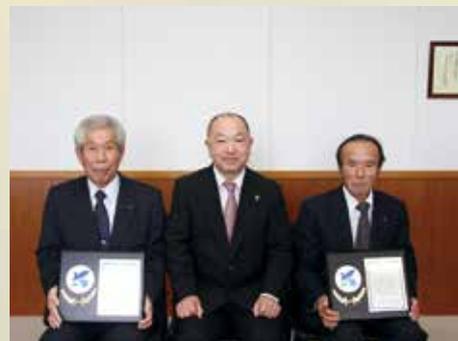
地区名	平均額	最高額	最低額	データ数
佐原地区	16,100	27,500	5,500	826
小見川地区	10,800	16,500	4,000	1,428
山田地区	10,100	16,500	5,000	326
栗源地区	7,100	11,000	4,500	76
市平均(参考)	11,600			

畑(普通畑)の部

(額単位:円)

地区名	平均額	最高額	最低額	データ数
佐原地区	10,000	18,000	5,000	36
小見川地区	4,200	9,000	2,000	70
山田地区	12,100	20,000	4,900	60
栗源地区	12,900	20,000	6,200	27
市平均(参考)	9,100			

※データ数は、集計に用いた筆数である。※賃借料を物納(水稲)としている場合は、60kgあたり11,000円に換算している。



香取市民表彰

現在まで通算12年余にわたり、農業委員活動を通じて市政発展への功労が認められ表彰されました。

(表彰者は、左から菱木重雄会長職務代理、宮負厚美委員)

香取市農業振興支援金のお礼と報告

『香取のふるさとまつり』で農業委員会ブースにおいて香取市農業振興支援金を募集しましたところ、多くの皆さんから温かいご支援をいただき深く感謝申し上げます。



山田ふれあいまつり 40,589円
 栗源のふるさとまつり 7,476円
 ふるさとフェスタさわら 11,935円
 12月8日、皆さまのご厚意を農業委員会より市長へ手渡しました。

農地の売買・転用等の申請受付期間
並びに総会予定表

年月	受付期間	総会開催日
平成28年3月	7日(月)、8日(火) 9日(水)、10日(木)	18日(金)

しっかりと積み立て、

がちちりサポート

安心して豊かな老後を

農業者年金に加入しましょう

〈農業者年金の6つのポイント〉

- ① 農業者の方なら広く加入できる
- ② 少子高齢時代に強い積立方式(確定拠出型)の年金
- ③ 保険料の額は自由(月額2万円〜6万7千円)に決められる
- ④ 終身年金。80歳前に亡くなられた場合でも80歳までの保証付き
- ⑤ 保険料の全額社会保険料控除など税制面の優遇措置
- ⑥ 認定農業者など意欲のある担い手には保険料の国庫補助あり

農業者年金の内容やご相談については、
農業委員会が最寄りのJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人農業者年金基金

☎ 03-3502-3199

全国農業新聞を購読しよう

全国農業新聞は農業者の公的代表機関である農業委員会系統組織が発行する農業総合専門紙です。

農業者の「経営と暮らしに役立つ」ホットな情報、多くの読者の皆様に満足して頂けるよう家族全員が楽しめる記事をお届けします。

【内容】

- ・ 変革期にある農政と農業・農村の新しい動きを解りやすく解説しています。
- ・ 認定農業者、農業生産法人など意欲的な農業経営者向けの情報を提供しています。
- ・ 新規就農者や農村女性の元気な取り組みを紹介しています。
- ・ 法人実務・税金・金融・農地・農業者年金相談などの経営者必携の実用的な情報が満載です。
- ・ 農村女性、お年より向けの家庭・くらし面も充実しています。
- ・ 県版・地方版における元気で特徴ある明るい話題や活動を発言しています。

発行日：毎週金曜日

購読料：月700円です。

申込は、地元農業委員または事務局まで
お願いします。

編集 後記

現編集委員会での農業委員会だよりは今号が最後になります。

年3回の発行ですから、紹介数は限られてしまいましたが、地域で活躍が期待される新規参入者や農業後継者の紹介、4名に増えた女性農業委員の活動をメインに編集を行ってきました。

先月、農林業センサス(2015年2月現在の概数値)が発表され、千葉県内の農業就業者の平均年齢は65.6歳と前回調査から0.8歳上昇しました。

香取市も同様の傾向ですから、地域で活躍する若い人達に対する期待は大きなものがあります。

4月からは、新制度による農業委員会活動が始まります。

副編集長 飯森 茂